

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画					
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容	
1	職務の理解 6時間	1	職務の理解	時間数	うち通学 うち通信	1 職務の理解	
	(1)多様なサービスの理解		(1) 多様なサービスの理解	5	5	(1) 介護の社会化、介護職の仕事	
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	1	1	(2) 業務の特徴、キャリアパスと介護職員初任者研修	
2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援	時間数	うち通学 うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援	
	(1)人権と尊厳を支える介護		(1) 人権と尊厳を支える介護	4	1.5	2.5	(1) 人間と尊厳の保持、人権擁護の基本視点
	(2)自立に向けた介護		(2) 自立に向けた介護	5	0	5	(2) 介護の基本視点、介護予防
3	介護の基本 6時間	3	介護の基本	時間数	うち通学 うち通信	3 介護の基本	
	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2.5	1.5	1	(1) 介護環境の特徴の理解、介護の専門性
	(2)介護職の職業倫理		(2) 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	(2) 介護サービスの公共性と職業倫理
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	0.5	1	(3) 介護における安全の確保、事故予防安全対策
	(4)介護職の安全		(4) 介護職の安全	1	0.5	0.5	(4) 健康管理とストレスマネジメント、介護職員の労働の権利と労働法
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	時間数	うち通学 うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
	(1)介護保険制度		(1) 介護保険制度	3	0	3	(1) 介護保険制度創設の背景、目的及び動向
	(2)障害者総合支援制度及びその他の制度		(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度	2	0	2	(2) 障害者福祉制度の理念、障害者自立支援制度の概要
	(3)医療との連携とリハビリテーション		(3) 医療との連携とリハビリテーション	4	1.5	2.5	(3) 医行為と介護、医療と介護の連携
5	介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5	介護におけるコミュニケーション技術	時間数	うち通学 うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術	
	(1)介護におけるコミュニケーション		(1) 介護におけるコミュニケーション	4	2	2	(1) 介護におけるコミュニケーションの技法、相談援助技術の重要性
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	2	1	1	(2) 観察、記録、情報伝達、コミュニケーションをうながす環境
6	老化の理解 6時間	6	老化の理解	時間数	うち通学 うち通信	6 老化の理解	
	(1)老化に伴うところとからだの変化と日常		(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3	0	(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴
	(2)高齢者と健康		(2) 高齢者と健康	3	0	3	(2) 高齢者の疾病と生活上の留意点、高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
7	認知症の理解 6時間	7	認知症の理解	時間数	うち通学 うち通信	7 認知症の理解	
	(1)認知症を取り巻く状況		(1) 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	(1) 認知症ケアの理念
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1	0	1	(2) 認知症の概念
	(3)認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	3	2	1	(3) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴
	(4)家族への支援		(4) 家族への支援	1	0.5	0.5	(4) 認知症家族介護者の現状と理解
8	障がいの理解 3時間	8	障がいの理解	時間数	うち通学 うち通信	8 障害の理解	
	(1)障害の基礎的理解		(1) 障害の基礎的理解	0.5	0.5	0	(1) 障害の理念とICF
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1.5	0	1.5	(2) 身体障害、知的障害、精神障害
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解		(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1	0	(3) 家族の支援

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間		9 ころとからだのしくみと生活支援技術		9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	10~13時間	ア 基本知識の学習	時間数	うち通学	うち通信
(1) 介護の基本的な考え方		(1) 介護の基本的な考え方	2	0	2
(2) 介護に関するころとからだのしくみの基礎的理解		(2) 介護に関するころとからだのしくみの基礎的理解	4	0	4
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6	0	6
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間	イ 生活支援技術の講義・演習	時間数	うち通学	うち通信
(4) 生活と家事		(4) 生活と家事	4	4	0
(5) 快適な居住環境整備と介護		(5) 快適な居住環境整備と介護	1	1	0
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	12	0
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	9	9	0
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	9	9	0
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0
(11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		(11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	0
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護		(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護	3	3	0
ウ 生活支援技術演習	10~12時間	ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通学	うち通信
(13) 介護過程の基礎的理解		(13) 介護過程の基礎的理解	4	4	0
(14) 総合生活支援技術演習		(14) 総合生活支援技術演習	6	6	0
10 振り返り	4時間	10 振り返り	時間数	うち通学	うち通信
(1) 振り返り		(1) 振り返り	3	3	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1	1	
追加カリキュラム					
計	(130時間)	計	(130時間)		

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。(別紙でも可)
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。